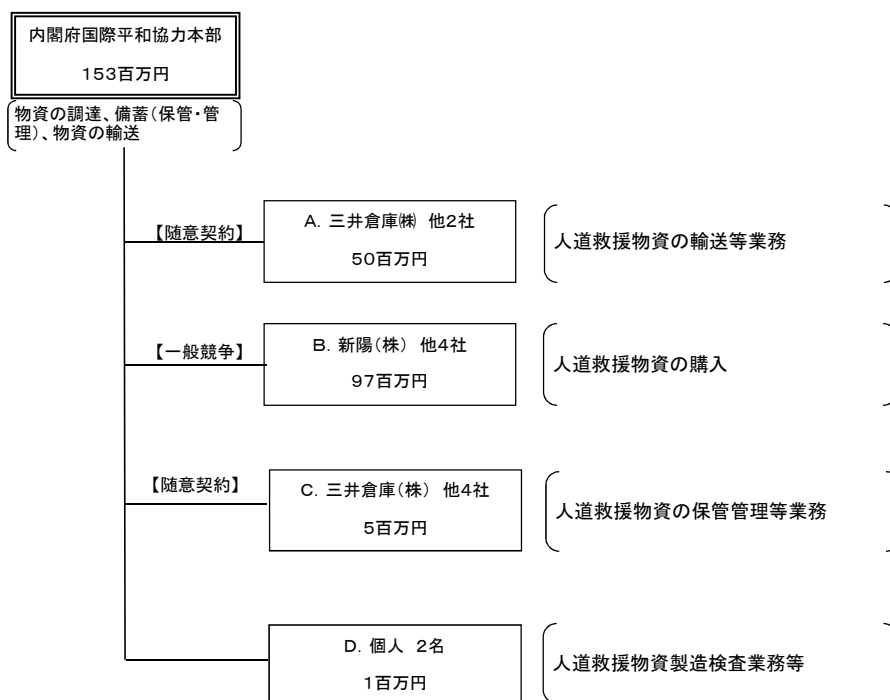


平成26年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	人道救援物資備蓄経費	担当部局庁	国際平和協力本部事務局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成9年度・終了(予定)なし	担当課室	—	参事官 小林 真一郎			
会計区分	一般会計	政策・施策名	76 国際平和協力業務等の推進 (政策20-施策①)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(第25条)	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律(平成4年法律第79号)(以下「国際平和協力法」という。)に基づき、国際連合等による人道的な国際救援活動に対し、適切かつ迅速な物資協力をを行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際連合等から人道的な国際救援活動への物資協力の要請を受けた場合、迅速に対応できるよう人道救援物資の調達及び備蓄(物資の保管・管理)等の業務を実施している。 平成25年度は、国際移住機関(IOM)からの要請を受け、IOMがイラク及びトルコで行っているシリア難民の救援活動に協力するため、本事業により海外倉庫(ドバイ)に備蓄している人道救援物資(テント、毛布、給水容器及びスリーピングマット)をIOMに対し、また、国連からの要請を受け、国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)が南スーダンで行っている文民保護及び人道支援等の活動に協力するため、海外倉庫に備蓄している人道救援物資(テント及びビニールシート)を国連(UNMISS)に対し、無償で譲渡した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	126	102	116	151	
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計	126	102	116	151		
	執行額	88	97	153			
執行率(%)	69.6%	94.5%	131.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	物資協力に対する国際連合等の評価	成果実績	—	—	肯定評価	肯定評価	
		目標値	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	備蓄物資を使用した物資協力の回数	活動実績	回	—	1	2	—
		当初見込み	—	—	—	—	—
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	X(執行額)÷Y(物資協力回数)	単位当たりコスト	円	—	96,625,873	76,599,176	—
		計算式	/	—	96,625,873/1	153,198,352/2	—
平成26・27年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	旅費	2					
	調達費	98					
	備蓄管理費	7					
	物資輸送費	44					
	計	151					

事業所管部局による点検・改善									
	項目	評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	政府広報室で実施している「外交に関する世論調査」で、国際社会で果たすべき日本の役割について聞いたところ、国際平和への努力や人道的支援が上位となっている。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○							
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	点検結果欄に記載 国際機関から複数回の支援要請に対し事務局予算の執行を点検したところ、効率的な予算の執行を行うことにより、より多くの人道的な国際救援活動に協力することが可能となった。						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○							
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—								
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	点検結果欄に記載 IOMによれば、我が国が無償譲渡した人道救援物資は、イラク及びトルコの難民キャンプにおいて配布中。また、UNMISSによれば、我が国が無償譲渡した物資は、南スーダンにおいて、既にUNMISSの活動に使用が開始されている。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○							
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—							
	事業番号	類似事業名					所管府省・部局名		
点検・改善結果	点検結果	<p>1. 物資の調達 過去の物資協力の実績から見直しを行い、備蓄品目については平成22年度までの7品目を平成23年度から5品目とするとともに、備蓄目標についても平成22年度までの3万人分を平成23年度から2万人分に下方修正した。 備蓄物資調達に当たっては、平成26年度においても一般競争入札を実施する。</p> <p>2. 備蓄(保管・管理) 効率化の観点から平成23年度に国内倉庫を廃止し、海外倉庫に1本化するとともに、海外倉庫についても一般競争入札により、委託先を決定した。(平成25年度については、当該委託先と随意契約)</p> <p>3. 備蓄物資の相互融通(自治体等との連携) 平成23年3月に発生した東日本大震災への対応として、緊急対策本部の要請を受け、国内倉庫(当時)に備蓄していた毛布1万枚、給水容器7千5百個、ビニールシート4千枚を、物品管理法に基づき内閣府政策統括官(防災担当)へ管理換を行なうことにより提供した(平成22年度)。</p> <p>4. 我が国が、国際平和のための努力に寄与するため、引き続き、効率化を進めつつ、適切に実施していく必要がある。</p>							
	改善の方向性	予算の執行、及び、事業については、引き続き適切に実施していく必要がある。							
外部有識者の所見									
行政事業レビュー推進チームの所見									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
備考									
<p>○公開プロセス 対象年度:平成22年度 レビューシート番号・事業名:157・人道救援物資備蓄経費 結果:大幅な改善を含め検討する。 とりまとめコメント: ・JICAや自治体や民間との連携などの見直しや倉庫をパーチャルにできないかなどを検討する必要 ・備蓄量に関しては海外との比較が必要 ・仕様を見直すなど、調達にあたっては、実質的競争の確保ができるよう、一層の工夫が必要</p> <p>内閣府国際平和協力本部HP http://www.pko.go.jp/pko/j/operations/relief.html</p>									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
	平成23年	0164	平成24年	158	平成25年	0111			

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

A.三井倉庫(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物資輸送費	トルコ共和国及びイラク共和国への人道救援物資の輸送等業務	33			
計		33	計		0
B.新陽(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物資購入費	被災民救援用テント	30			
計		30	計		0
C.三井倉庫(株)			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
物資備蓄管理費	人道救援物資等の管理料及び搬出入料	4			
計		4	計		0
D.個人			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	個人A	0.7			
旅費	個人B	0.2			
計		1	計		0

費目・使途
 「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井倉庫(株)	トルコ共和国及びイラク共和国への人道救援物資の輸送等業務	33	随意契約	—
2	日本通運(株)	南スーダン・ジュバへの物資の輸送業務	16	随意契約	—
3	JPサンキュウグローバルロジスティクス(株)	南スーダン共和国への人道救援物資の輸送等業務	0.09	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新陽(株)	被災民救援用テントの購入	30	3	—
2	新陽(株)	被災民救援用ビニールシートの購入	17	4	—
3	カンセン(株)	被災民救援用スリーピングマットの購入	15	3	—
4	辰野(株)	被災民救援用毛布の購入	15	3	—
5	カンセン(株)	被災民救援用スリーピングマットの購入	9	3	—
6	新陽(株)	被災民救援用毛布の購入	7	7	—
7	新成物産(株)	被災民救援用給水容器の購入	4	2	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井倉庫(株)	人道救援物資等の管理料及び搬出入料等	5	随意契約	—
2	澁澤倉庫(株)	国際平和協力本部業務用品の保管及び出入庫業務	1	随意契約	—
3	(株)かいせい	物資協力引渡式におけるパネルの作成	0.02	随意契約	—
4	(株)五月商会	国際移住機関(IOM)への物資協力に係る目録の印刷	0.02	随意契約	—
5	GSM Rentafone Pty Ltd.	携帯電話	0.003	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	人道救援物資引渡業務等旅費	1	随意契約	—
2	個人B	人道救援物資引渡業務等旅費	0.2	随意契約	—

※落札率については、他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため公表しない。